

高槻ラグビースクール セルフチェックシート運営要領

【目的】

練習(試合)時の安全を最優先するために、指導者がスクール生の体調を把握する事を目的とします。

【活用方法】

指導者がその日のスクール生の体調を確認し、練習(試合)への参加の可否を検討する資料とします。また、練習(試合)の途中中止を検討する資料としても活用します。

【練習(試合)に参加できないケース】

- ①体温が37℃以上の場合。
ただし、平熱が高いスクール生の場合は保護者と協議の上参加の可否を決定します。
- ②睡眠時間が少ない場合。(原則7時間未満の睡眠時間の場合)
- ③朝食を食べていない場合。
- ④体調が悪く、運動ができない状態の場合。
- ⑤その他指導者が、運動ができない状態であると判断した場合。
- ⑥セルフチェックシートを提出していない場合。

【運用方法】

- ①ご家庭で、セルフチェックシートに記載していただき、内容に間違いがなければ保護者がサインをしてください。
- ②練習が始まる前に、各学年のチーフコーチに提出してください。
(チーフコーチが不在の場合は、副チーフコーチもしくは学年のコーチに提出してください。)
- ③チーフコーチにおいて、スクール生1人1人の体調等をチェックし、練習(試合)への参加の可否を検討します。チーフコーチは必要に応じて学年内指導者に留意点など情報を共有します。また、練習中のスクール生の体調チェックにも利用します。
- ④練習終了後、チーフコーチがサインをし、スクール生へ返却します。
- ⑤万が一、事故(脳震盪、熱中症、骨折など)発生時に、救急搬送する場合には救急隊員にセルフチェックシートを提示致します。

平成26年7月発行
高槻ラグビースクール
運営委員会